

みんなで取り組むエコ・スクール活動

甲賀市立油日小学校

エコ・スクール活動に取り組んで13年目。学校ビオトープの活用においては、児童がアイデアを出し合っている活動に、家庭・地域が連携した学習活動を重ねることで、共に学べる環境学習を展開した。

1. 学校の概要

油日小学校は、滋賀県の南東部の鈴鹿山脈の麓にあり、油日岳を源流とする杣川が学校近くを流れている。2000年の3月には学校ビオトープが完成し、今では当時幼木であった木々も大きく育ち、カエル、クロメダカ、ドジョウなど多くの生物が観察できるようになった。このような環境の中、本年度も、「自分を大切に・人を大切に・ものを大切に・自然を大切に」を合言葉に、エコ・スクール活動に取り組んだ。

2. 活動の実際

(1) エコ委員会の取り組み

ア. ゴミゼロ作戦

子どもたちのゴミをなくしたいという思いを具体的な行動として受け止める活動が「ごみゼロ作戦」である。毎年5月30日の「ごみゼロの日」にエコ委員会からの呼びかけで、この活動を計画してきたが、今年度は次の方法で取り組んだ。

まず、事前の説明は、エコ委員会のメンバーが集団下校時の集会で行うことにした。説明では昨年度の募集で決定したゆるキャラ「エコンジャー」の紹介も兼ね、「エコンジャー登場!」という創作劇を披露することで、暮らしの中のエコ活動についても働きかけた。



「ごみゼロ作戦」の説明と啓発劇

当日は教室のゴミ箱に封をし、広告で作った紙袋を各自の机に下げて、その日の自分のゴミ全てを入れた。一日の終わりの学級活動で、どんなゴミがあったか、減らせるゴミはないかなど、この活動で気づいたことを話し合い、そのまとめを校内に掲示した。この取り組みから子どもたちは、いかに無駄な紙くずが多いかに気がつくことができたようである。

イ. ビオトープ便りの作成

ビオトープ便りとは、学校ビオトープで見つかる生き物などを紹介する掲示物である。この作成には、エコ委員会がクラスの友だちから情報を集め、季節にちなんだ自然紹介となるよう



情報掲示板の「ビオトープ便り」

工夫をこらしながら作成した。児童昇降口に掲示し、内容も子ども自身が興味のあるものとして、生き物紹介や開花情報、さらに果実の食べ頃情報など、写真やクイズを交えて紹介した。

ウ. カブトムシの飼育活動

本年度の5月に、近所の方のご好意で、カブトムシの幼虫100匹を貰い受け、その飼育に取り組むことになった。エコ委員会では、成長の様子をビオトープ便りの中で紹介した。

夏になると大量の成虫が生まれたため、一部をビオトープのクヌギの森に放した。冬には近くの堆肥の中に幼虫が数多く見つかった。普段

池の水環境のことしか気にしなかった子どもたちも、ビオトープが里山の生き物を幅広く育んでいることを知る機会となり、驚いていた。

エ．ザリガニの駆除作業

エコ委員会では、ビオトープの池に地域固有の水草であるヒツジグサを取り戻そうと水草の生育しやすい環境づくりを探ってきた。その結果、大量に発生しているザリガニが水草を食べてしまうことがわかり、昨年より駆除に乗り出した。

わなをしかけてザリガニを捕まえるが、そのわなの中に、ザリガニ以外のさまざまな生き物も捕獲され、子どもたちにとって毎日楽しみながらの活動となった。捕獲したザリガニはビオトープから離れた中庭のザリガニ池に放し、ここはザリガニつりができる人気の遊び場所となっている。

オ．秋の自然と遊ぶう会



「葉っぱ合わせ」を楽しむ子どもたち

これは、10月下旬の昼休みに、エコ委員会が中心となりワークショップ形式で行う活動である。「葉っぱマンをさがせ!」では、木や草むらに隠れる「葉っぱマン」を見つけて、ネイチャークイズに答えながら楽しんだ。また「どんぐりごま作り」「オナモミ的あて」「葉っぱ合わせ」など子どもたちのアイデアにより、楽しいゲームが次々と考えられた。

これら活動は、淡海エコクラブ活動交流会や、ビオトープ便りでも紹介した。

(2)環境フェスティバル 10月13日(土)

この行事は、学校で取り組んでいる環境教育を、家庭や地域に広く紹介するために、全校をあげて行っている重要な活動である。

内容は学年ごとに、次の活動を行った。

- ・1年 アサガオのつるのリースづくり
- ・2年 ひつつきむしの絵、虫クイズラリー
- ・3年 池の生き物観察と焼き杉クラフト
- ・4年 校庭の木ビンゴ、丸太切り体験
- ・5年 水中の微生物観察、ヨシ笛づくり
- ・6年 ふるさとの山 油日岳登山

これらの活動を全校が一斉に行うため、教師だけでは十分な指導ができない心配があるが、地元森林組合や水口こども森の学芸員など地域の方々からの幅広い協力が得られることで専門的な指導を受けることができた。

(3)エコ・スクール支援委員会の取り組み

環境フェスティバルを支えるもう一つの重要な組織が「エコ・スクール支援委員会」である。この組織はPTAの中の専門機関として位置づけられている。保護者でもある支援委員には、計画から運営まで、自分の興味関心を活かしながら関わっていただいた。

実施後の保護者アンケートから、保護者自身が、もっと参加してみたかったという声が多くあり、この環境学習が親子共通の話題を共有できる機会になっていると感じた。

また、「ひつつきむしの絵」と「焼き杉クラフト」のショップでは、支援委員がフリップを活用してプレゼンを行った。実施後の総括会議では、より油日小らしいものにしていきたいという展望を支援委員が熱く語られ、環境教育の広がりとしてひとつのモデルになってきたと感じられた。



保護者による「ひつつきむし」のプレゼン

学校名	甲賀市立油日小学校
住所	甲賀市甲賀町上野 1322
電話番号	0748-88-2079
E-mail	koka30102032@city.koka.lg.jp